

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

| 時期 | 1年B巡 | 単元 | 実習 | 教科名 | 1B_ブレーキ分解組立 | |
|-----|---------|-------------|-----------------------|-----|-------------|----------|
| 科目 | 自動車整備作業 | 教科書等 持参品 | 自動車整備士三級（総合） 実習ノート | | 発行日 | 2026.4.1 |
| 総時限 | 23時限 | | | | 教科 担当 | 石井 仲田 |
| 総時間 | 36.8時間 | | | | | |
| 単位数 | 1 | | | | | |

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解、組立、点検等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①ブレーキ装置の構造、機能を理解し、構成部品を覚える。
- ②ブレーキ装置の重要性を理解し、確実な作業をする。
- ③ブレーキ装置の分解、組立が正確に出来る。
- ④ブレーキ装置の調整が正確に出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①ブレーキ装置の構造、作動を理解し、構成部品を覚えることが出来る。
- ②ディスクパッド、ブレーキシューの着脱作業が、規定時間内で正確に出来るようになる。
- ③ドラムブレーキにて、適正なブレーキシュークリアランス付近までブレーキ仮調整が出来るようになる。
- ④マスタシリンダの脱着及び、分解組立が出来るようになる。
- ⑤ブレーキキャリパのインナシール交換作業が出来るようになる。
- ⑥ホイールシリンダの脱着及び分解組立、カップ交換が出来るようになる。
- ⑦ブレーキのエア抜きが確実、迅速に出来、良否の判断及び調整が出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①ディスクブレーキ及びドラムブレーキ部品名称。
 - ②ディスクブレーキ着脱作業。
 - ③ドラムブレーキ着脱作業。
 - ④カップ交換

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

